

# 小児のストーマケアにおける 基本ガイドライン：幼児

このガイドラインは、幼児のストーマケアに従事する看護師やその他の医療従事者向けに、小児のストーマケアに関する基本的情報を提示するものです。ここでは、ストーマ周囲のスキンケア、製品の選択、ストーマ装具の装着、小児患者の退院時に提供すべき退院指導などの内容を取り上げます。基本的に、新生児にも成人のストーマケアの原則が適用されます。ただし、皮膚の特性や体形的特徴については成人とは異なり、特別なケアが必要です。世界小児ストーマ認定看護師諮

問会議（Global Paediatric Stoma Nurses Advisory Board、GPSNAB）は、本書の基本ガイドラインが皆さんの小児のストーマケアに従事する看護師に役立ててもらえることを願っています。詳しい情報をご希望のされる場合は、「小児科学におけるストーマケア：新生児、幼児、児童に対する国際的ベストプラクティス（Paediatric stoma care: Global best practice guidelines for neonates, children and teenagers）」<sup>1</sup>をご参照ください。

## 基本的なストーマケア

### 貼付しているストーマ装具を剥離する

ガーゼとぬるま湯を使って皮膚保護剤を丁寧に剥離し、慎重に剥がしてください。

粘着剥離剤には有害物質が含まれている場合があります。選択する際は十分に注意してください。原則として、粘着剥離剤の使用は次の場合に制限されます。

- 粘着剥離剤を使用しなければ、表皮が損傷してしまうと考えられるとき
- 短期間のうちに装具交換を行うとき

ストーマ装具の交換理由を記録しておきます。

### ストーマ周囲の皮膚およびストーマを観察する

幼児のストーマ周囲の皮膚は脆弱です。ストーマ周囲の皮膚やストーマをよく観察し、ストーマケア方法を検討することが重要です。以下の観察項目を日頃のケアの手引きとしてご活用ください。

異常なし	浸軟あり	発赤	びらんあり
------	------	----	-------

ストーマ周囲皮膚障害がある場合は、考えられる原因をアセスメントします。

排泄物が皮膚保護剤の下に潜り込み皮膚に付着していないかを評価します。皮膚障害重症度評価スケールを使用して、ストーマ周囲皮膚障害の部位と重症度を評価します。

画像で記録を残したり、ストーマ周囲の皮膚が改善しているか、あるいは悪化しているかを評価します。

実践したストーマケアは必ず記録しておきます。

ストーマ周囲皮膚障害を認める場合は、考えられる原因をアセスメントします。

排泄物が皮膚保護剤の下に潜り込み皮膚に付着していないか観察します。	アレルギー反応	機械的刺激（剥離刺激や圧力が原因となるもの）	現在の疾患や病態	感染症
-----------------------------------	---------	------------------------	----------	-----

次の点について、幼児のストーマを観察し、結果を記録します。

ストーマサイズ	ストーマの高さ (皮膚よりも上、皮膚と同じ、皮膚よりも下)	形状	色調	外観	ストーマ周囲の膨らみ／傍ストーマヘルニア
---------	----------------------------------	----	----	----	----------------------

粘膜皮膚接合部の状態を観察します。

異常なし	離開している
------	--------

排泄物の性状や量を観察します。

便の場合：硬さ、量、色

尿の場合：透明度、粘液の有無、臭い

### ストーマ周囲の皮膚をきれいにする

ぬるま湯と柔らかい布で丁寧に洗います。

こすらずに、軽く押さえるようにして優しく水気をとりまします。

洗浄剤はできる限り添加物の少ない弱酸性のものをお選びください。

### 適切な製品を選択する

小児用のストーマ装具を選択する場合は、常に以下の点を考慮してください。

子供の年齢、体重、ストーマ周囲の腹部の形や形状（体形的特徴）

ストーマの高さと種類

- ・ イレオストミー、コロストミー、ウロストミー
- ・ 皮膚よりも上か皮膚と同じ、あるいは皮膚よりも下か

排泄物の性状と一日の排出量

小児の運動能力と活動量

### ストーマ装具を装着する

ストーマ装具の皮膚保護剤を上から掌で温めます。外部の熱源（ドライヤーなど）を使って製品を加熱してはいけません。

ストーマ装具を貼付したら面板の上から軽く押さえ、粘着剤を皮膚にしっかりと密着させます。

ストーマの周囲にしっかりと密着させるようにしてください。ストーマサイズに合わせて正しくホールカットを行うことが推奨されます。

適切な密着性が確保できない場合は、用手成形皮膚保護剤や練状皮膚保護剤などのアクセサリーの使用を検討してください。

### ストーマ装具の貼付期間

ストーマ周囲の健全な皮膚を維持するため、最低でも 24 時間の貼付期間を確保します。

ストーマ周囲の皮膚の状態に応じて最長で 4 日間貼付できます。

## 退院指導

### 退院前

必ず、以下の点に関する必要な情報提供を行います。

ストーマ装具の交換方法	ストーマおよびストーマ周囲皮膚障害について	選択したストーマ装具とアクセサリーの種類	ストーマ装具の購入方法
ストーマ装具販売店への連絡	コスト	ストーマ外来や主治医への連絡の方法とタイミング ※お問い合わせ先についてお知らせします。 ・ 外来受診日の日時	特に以下の点を親に伝えておくこと ・ ストーマ関連合併症の臨床徴候（例えば、ストーマの脱出やびらんなどのストーマ周囲皮膚障害など）

### 退院後

継続的な支援に関する推奨事項

週 1 回程度、電話連絡などで、親に状況確認を行います	主治医の受診日にはストーマケアに従事する看護師の同席を推奨します	家族が遠方に住んでいる場合は、Skype や FaceTime などのオンライン診療を検討します（地域の規制で許可されているかどうかを必ず確認してください）
-----------------------------	----------------------------------	--

<sup>1</sup> 出典：「小児科におけるストーマケア：新生児、幼児、児童に対する国際的ベストプラクティス（Pediatric stoma care: Global best practice guidelines for neonates, children and teenagers）」www.ColoplastProfessional.com